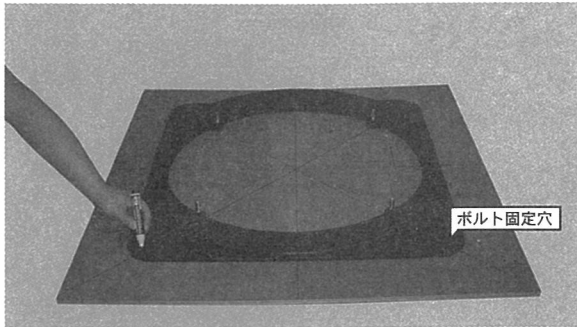
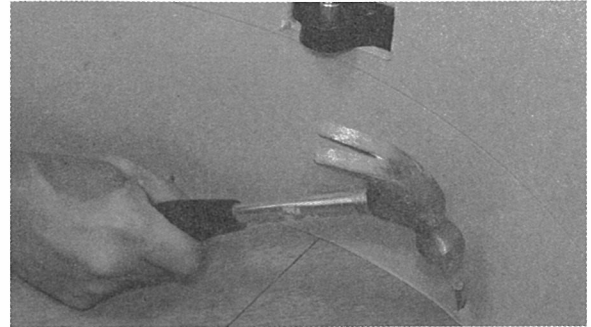


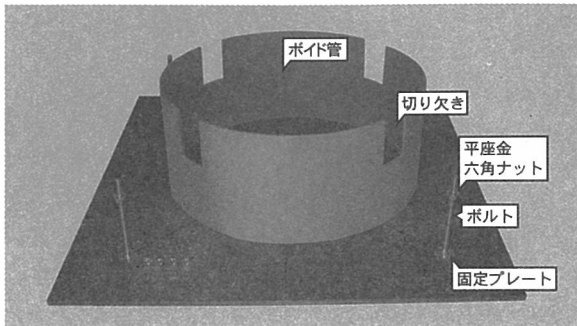
マンホール鉄蓋打込金具 MSV (切り欠き付) 施工要領



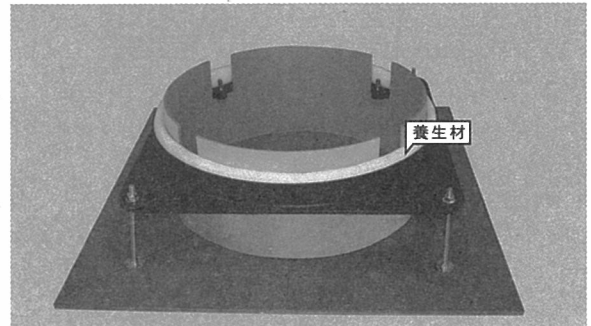
① マンホール芯を墨出し、受枠のボルト固定穴が墨出した線上に来るように置き、ボルト取付位置をけがきます。



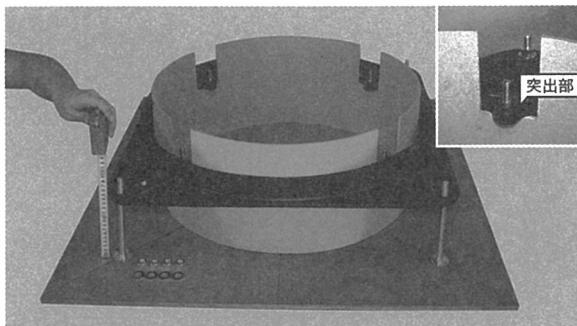
⑤ ボイド管の下からコンクリートが入らないよう、ボイド管に内側からクギを打って型枠に固定します。



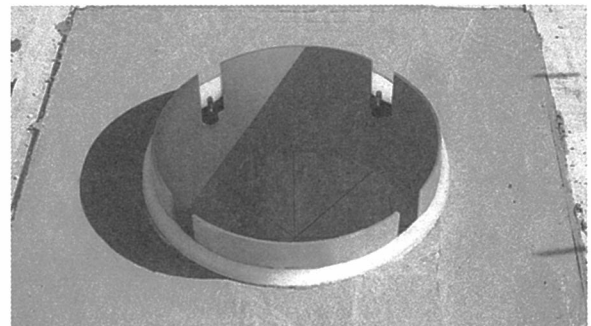
② ①でけがいた取付位置に、固定プレートをクギで型枠へ固定し、その固定プレートへボルト、六角ナット、平座金を組み付けます。次に、切り欠きを上にしボイド管を置きます。



⑥ コンクリートが枠受部に入らないように養生材を挿入し、セット完了。

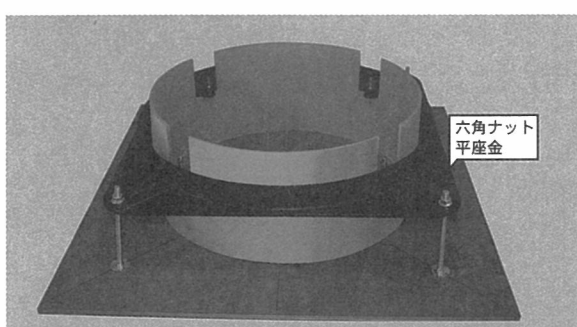


③ 受枠の突出部にボイド管の切り欠きが合うようにしながら受枠をボルトの上に置きます。受枠を支える受枠の下側の六角ナットを回してレベルを調整します。

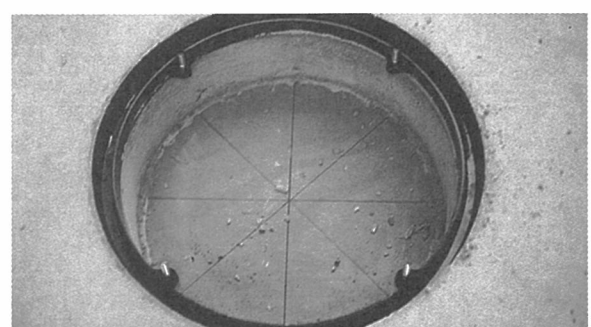


⑦ コンクリートを打設します。

④ 注 付属のボルトはコンクリート上面に飛び出さないよう、スラブ厚さより15mm~20mm程度短い設定です。



④ 受枠の上側より平座金と六角ナットを締め付け、受枠をしっかりと固定します。



⑧ ボイド管をハンマーで外側よりたたき、ボイド管に割れ目を入れ、外しやすい様にし取り外します。

⑨ 養生材は、蓋をかぶせる直前まで外さないでください。

※掲載写真は、マンホール鉄蓋 MWA 角枠とMSV-2です。